



実物や模型を通して、豊かな富里の歴史を楽しめる！ 図書館2階に郷土資料展示室がオープン

4月28日より、図書館2階で郷土資料展示室の一般公開が開始しました。

この郷土資料展示室は、旧藤崎牧土史料館より寄付された、千葉県指定有形文化財である「佐倉牧の牧土資料」をはじめとして、市内に所在する遺跡から出土した遺物や歴史的な資料が展示されています。

また、1階 郷土行政資料コーナーには富里の歴史に詳しく触れられる書籍やDVDもご用意しています。
この夏、図書館で富里の歴史と出会ってみませんか？

【富里の歴史を物語る、豊富な郷土史料】

郷土資料展示室で紹介されている多くの史料。その中心となる存在が牧土です。突然ですが皆さんは、この「牧土」をどう読むのか知っていますか？

正解は「もくし」です。江戸時代の牧土は幕府の牧を管轄する者として士分に準じ、名字帯刀や乗馬鉄砲を許され、野馬の管理等をしていました。

地域から大きな尊敬を払われる牧土。佐倉七牧の1つ、取香牧を任された藤崎家もその一角です。

第2展示室では、そんな藤崎家から寄贈された資料を多数展示しています。根付や筭、ランプ等の生活に根付いた史料から、千葉県指定有形文化財に指定されている貴重な史料まで、当時の牧土の使命や生活がうかがえるものが目白押しです！



〔上〕伝 雪舟の山水図。残念ながら贋作ですが、そのはたらきについての興味深い解説と共に展示されています。

【当時の生活や文化を垣間見られる展示品たち】

もちろん、見どころのある展示品は、牧土関係史料だけではなく、

ＡＶホール前の展示ケースには、市内の民家から発見された史料である「疱瘡神の詫び証文」や「屋根裏に納められた護符」が展示されています。

発見・回収された当時、土のう袋で50袋程だったというこの「屋根裏に納められた護符」は、「寺社のお札を千枚（多数）俵に納めて天井裏や、その柱に括りつけておくと、家の守りになる」という信仰からではないか、と推測されています。

護符は、千葉県内の市町村に限らず、関東・東北・中部・関西・中国・四国地方と幅広い地域から集められています。その中でも現在展示されている護符は、富里地域の寺社のものです。高野の聖徳寺、立沢の観照院、新橋の真乗院、根木名の常光寺、久能の潮音寺、日吉倉の円勝寺の護符が展示されています。

祈願の内容も1つではなく、家内安全や盗難除け、火難除け、病平癒と様々。無病息災を祈り、当時の人々がどんな生活をしていたのか、どんな信仰が息づいていたのかをうかがい知ることが出来るでしょう。



〔上〕鞍

萬治三年の銘があり、前後には霊獣の玄武が描かれています。

〔中〕携帯用湯沸かし(千葉県指定有形文化財)

持ち運びが可能な、湯が沸かせる道具です。



〔下〕携帯用水呑み(千葉県指定有形文化財)

貝殻型の水呑みです。木製漆塗りで作られています。根付を使って帯から吊るし下げられました。



お知らせ



レファレンス協同データベースから 企画協力員賞を授与されました

調べ物のための『調べもの事例データベース』であるレファレンス協同データベース(以下レファ協)。当館はこのレファ協より「企画協力員賞」を授与され、賞状をいただきました！
『データベースを積極的に活用し、職員数が少ない中で郷土事例を中心に、レファレンス事例や調べ方マニュアル、特別コレクションを公開している』ことが高い評価を受けたとのこと。当館が登録・公開しているデータは現在44件。郷土に関する調べ物相談を始めとして、皆様から寄せられた様々な調べ物相談の登録を続けています。

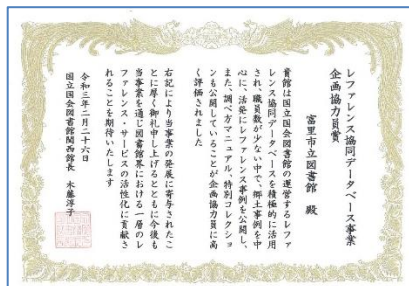
回答は勿論、調査の過程も含めてお楽しみください。

【登録したレファレンス(調べ物相談)事例の一部】

- ★ 競走馬「鎌倉」を顕彰した石碑について調べている。現地を訪れたいので、設置場所について知りたい。
- ★ 樹木希林の芸名の由来である「ゆめにのみ きききききと ききききと きききききと いたくとそみし」という和歌の意味を知りたい。古今和歌集に入っているらしい。

【調べ方マニュアル・特別コレクション】

- ★ 富里の昔話に関する資料
- ★ 馬(競走馬)関係資料



〔左〕企画協力員賞 賞状
いただいた賞状は館内に飾らせていただきました。

◆ バリアフリー資料を提供しています

“誰もが読書をできる社会を目指して”と謳う「読書バリアフリー法」。この法律の制定に伴い、当館もバリアフリー資料の収集と展示をしています。

『バリアフリー資料』とは、様々な障害のある方が利用しやすい形で知識や情報に触れることが出来る資料です。
当館では、次のバリアフリー資料を提供しています。

点字資料	触って読む、点字に翻訳された本です。辞典やレシピ本といった一般書だけでなく、児童書もご用意しています。
大活字資料	通常の本よりも字が大きく印刷されている資料です。目の見えにくい方でも読書を楽しんでいただけます。
さわる絵本	点字だけでなく、絵にも凹凸があります。絵も触って読める絵本です。凹凸だけでなく、いろいろな触り心地の素材が使われている絵本もあります。
LLブック	理解しやすく、やさしい言葉で書かれている本です。文字だけではなく、イラストや図を使って理解を助けてくれます。

これらの資料は、企画展示コーナーにまとめて展示されています。通常の資料と同じく貸出もしておりますので、是非ご利用ください。

【お問合せ】 富里市立図書館 ☎0476-90-4646

読書駅伝帯リレー



◆ 読書×書評×駅伝＝読書のリレー！？ 日本大学芸術学部との連携企画、いよいよ本格起動

当館では、日本大学芸術学部の学生により提案いただいた企画の1つとして「読書駅伝帯リレー」を実施しています。

この読書駅伝帯リレーは、『読む』⇒『書く』⇒『紹介する』で繋がっていく“読書のタスキ”がテーマの企画です。

図書館で好きな本に出会ったら、本の帯に書評(その本をお勧めする文)を書いて投稿してみましょう。まだその本を知らない誰かが、あなたの書評をきっかけにして読書体験を駅伝のタスキのように繋いでくれるかもしれません！

【書評を投稿するには？】

書評の投稿はカンタンです！ 2種類ある投稿用紙どちらかを選んで、それに誰かにオススメしたい本や好きな本についての書評を書いたら投稿 BOX に投入するだけで完了します。また、本の返却時などに図書館の職員に渡してもいただいても書評投稿の受付となります。

投稿用紙は2種類配付しています。本に装着する紙帯の用紙へ直接記入する紙帯タイプと、書評を書いて投稿すると職員がパソコンを使って記入を代行する記入代行タイプです。紙帯の投稿用紙には文章だけではなく、イラストや図なども描き入れていただけます！

また、インターネット上から書評が投稿できる「読書駅伝帯リレー on-line」もご用意しているので、お家でくつろぎながら、お気軽に投稿していただけます♪

「読書駅伝帯リレー on-line」へは、図書館ホームページの他にも、右のバーコードを読み込むとアクセスが可能です。



【ピックアップ書評による紹介も！】

読書駅伝の企画の一環として、『ピックアップ書評』も発行しています。寄せられたたくさんの書評の中から、本が貸出し中で帯が見られなくても紹介したい！ というすてきな書評を選びすぐってリーフレットにしたものです。

『ピックアップ書評』は図書館や、北部コミュニティセンターでお配りしている他、図書館ホームページやTwitterでも公開しております。ぜひご覧ください♪

来館時のお願い

依然として新型コロナウイルスの感染が拡大しております。図書館では、閲覧席の制限、飛沫防止のクリアボードの設置、書籍消毒機の導入等の対策を行うと同時に、来館者の皆様に『マスクの着用』『手指の消毒』『他の利用者との適切な感覚の確保』をお願いしております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

